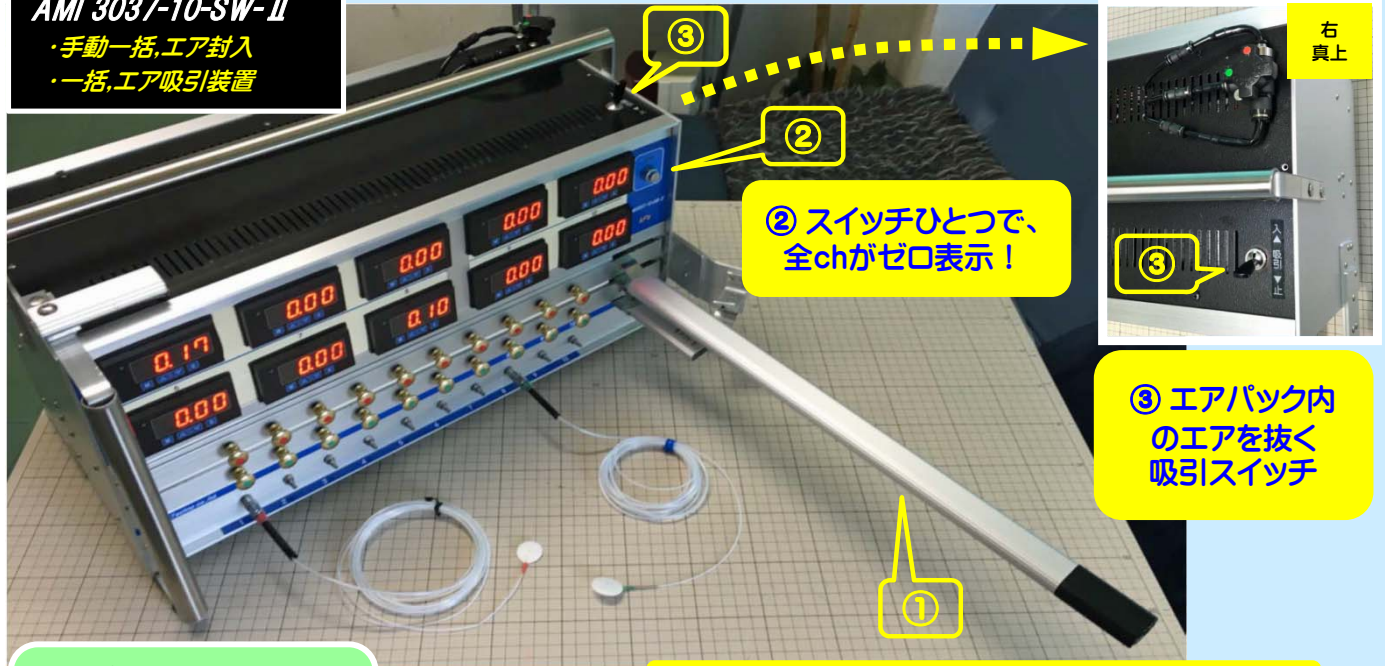


エアシリンダ組込型 エアパック式 接触圧測定器

10点タイプ

AMI 3037-10-SW-II

- ・手動一括、エア封入
- ・一括、エア吸引装置



右
真上

② スイッチひとつで、
全chがゼロ表示！

③ エアパック内の
エアを抜く
吸引スイッチ

① レバー操作で全chのエア封入が完了！

エアパックを付けたまま、
また、本体から切り離しても、
測定が可能！
ただし、ヒステリシスの違いを考慮

部位に着けたエアパック（センサ）を、被測定物を着用（装着）など、
圧迫掛けた状態でも測定可能。＜二つの測定方法＞

測定用途：衣服圧、被服圧、ストッキング・包帯の着圧、拘束圧、体圧、座圧、柔軟面の接触圧 など

接触圧測定器〈本体〉（圧力センサ/大気差圧：ゲージ圧）

機器名	* 仕様はお断りなく変更する場合があります		
型式	AMI 3037-10-SW-II (エア吸引装置付)		
圧力単位	kPa		
圧力センサ	ダイヤフラム（2重）		
測定点数	10点		
ゼロスイッチ	ONした時点で、全chが『0.00』表示（オールゼロ機能）		
内臓圧力センサ計測範囲	0.00～35.00 kPa 実際の測定範囲は接続したエアパック形状にて異なります		
精度(23℃環境)…エアパックの精度は含まず	0～14.00 ±0.2 kPa 14.00～34.00 ±0.3 kPa		
〈出力変換〉圧力→電圧	1 kPa → 0.1V (100mV)		
デジタル表示/分解能	0.00～35.00 kPa (0.01kPaの桁は、相対値として利用ください)		
耐久圧力	70 kPa		
電源/最大消費電力	AC100～240V / 50VA (50W)		
エア封入装置（本体組込エアシリンダ）	赤/0.3mL×10個 緑/0.6mL×10個		
エア吸引装置（本体組込）	本体接続中のまま、全CHのエアパックのエアを抜くことができます		
対応エアパック （受圧センサ）	標準タイプ：AMI3037-P2/P5、 特殊形状にも対応、ご相談ください パラソルタイプ（組込）：AMI3037-P2P/P5P（カプラ付）		
大気差圧ゼロ調整	手動調整トリマー		
使用環境	0～45℃ 25～85%RH		
外形寸法(突起部除く) mm	W: 510	D: 240	H: 230
突起部(含む寸法)	スッパ- (535)	ハンドル(340)	取っ手(285)
重量	約 15 kg		

* 仕様はお断りなく変更する場合があります。



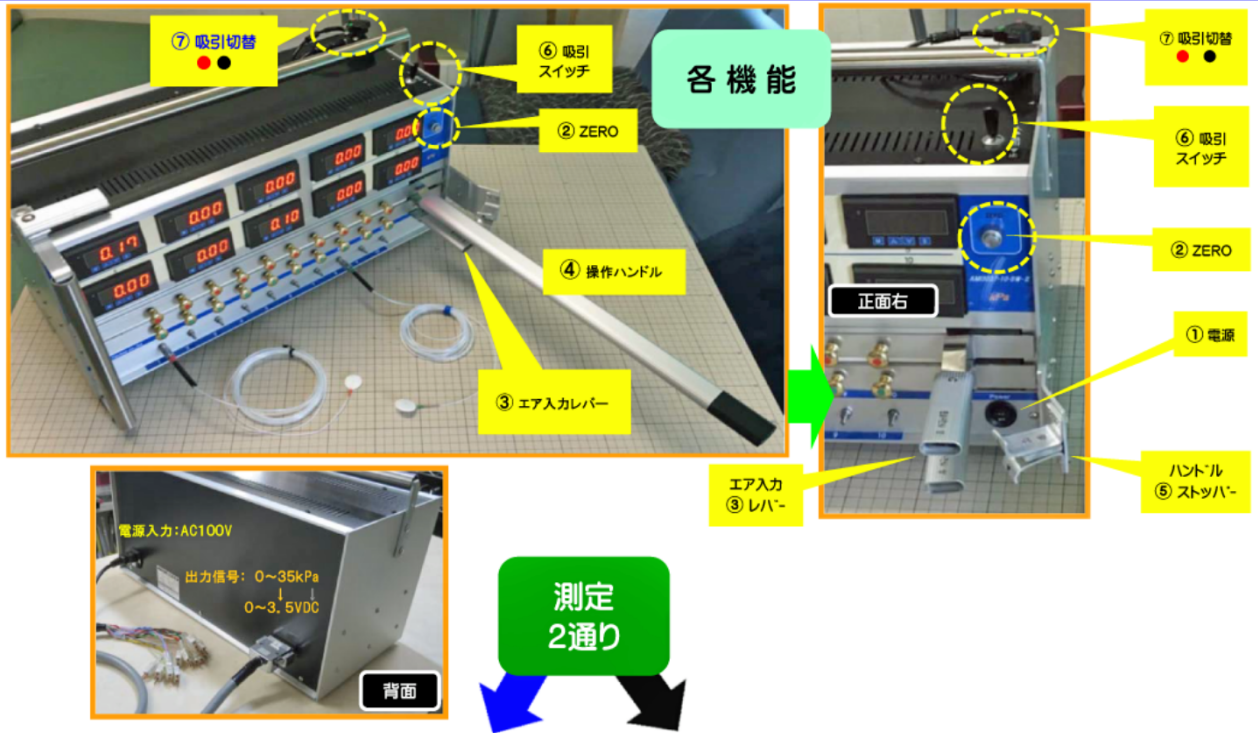
株式会社 エイエムアイ・テクノ

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-5-3-1313

tel 03-5339-7417 fax 03-5339-7414

<https://www.ami-tec.co.jp> E-mail:ami-tec@m2.pbc.ne.jp

2019/8/23



① エアバックにエア入れ→部位に取付→着用/装着→測定	② エアバックを部位に付ける→着用/装着→エアを押し込む→測定
1、Power ON ①電源	1、Power ON ①電源
環境温・機器内温度の安定 安定の判断: 値の最後の桁が変化しない	環境温・機器内温度の安定 安定の判断: 値の最後の桁が変化しない
2、表示値 0.00 ②ZEROスイッチですべてのchが0.00	2、表示値 0.00 ②ZEROスイッチですべてのchが0.00
3、エアバックセンサを入力コネクタに接続	3、エアバックセンサを入力コネクタに接続
* エアバックを先に計測面に付けた状態で行っても良い	* エアバックを先に計測面に付けた状態で行っても良い
4、③レバーに操作④ハンドル差込み (赤又は黒)	4、エアバックを計測面に付け、カバー・テープで覆う。
5、④ハンドルを右に振り、⑤ストッパーに固定	5、着用・装着
本体内エアシリンダの弁を開放 (大気) エア量: 赤●/0.30mL 黒●/0.17mL	6、③レバーに操作④ハンドル差込み (赤又は黒)
6、⑥吸引スイッチ ON 残ってるエアバックのエアを抜く	7、④ハンドルを右に振り、⑤ストッパーに固定
7、⑦吸引切替: ●●選択 エアが10秒程度で完全に抜ける	本体内エアシリンダの弁を開放 (大気) エア量: 赤●/0.30mL 黒●/0.17mL
エアバックを全ch接続してない時、吸引時間が長く要す。	8、⑥吸引スイッチ ON 残ってるエアバックのエアを抜く
8、⑥吸引スイッチ OFF	9、⑦吸引切替: ●●選択 エアが10秒程度で完全に抜ける
9、表示0.00~±0.01を確認	エアバックを全ch接続してない時、吸引時間が長く要す。
②ZERO押し、0.00にする	10、⑥吸引スイッチ OFF
ここで0.00にならない途中で②ZEROを押した場合エアが残ってる分、測定値に誤差がでます、	11、表示0.00~±0.01を確認
10、④ハンドルを左に戻す エアを入れる	②ZERO押し、0.00にする
11、エアバックを計測面に付け、カバー・テープで覆う	ここで0.00にならない途中で②ZEROを押した場合エアが残ってる分、測定値に誤差がでます、
12、着用・装着	12、④ハンドルを左に戻す エアを入れる
13、測定 一測定精度は±0.2又は0.3kPaですが、数値の0.01の桁は参考値で、相対値として比較・評価などに利用くださいー	
* 圧力が弱い時や、エアバックのチューブの長さが3m超えたり、潰れてる場合は、エア封入・値の安定に時間が掛かる場合があります	

<ZERO> スwitchを押した時点で、全CHが0.00になります

<コック> 操作ハンドルにて一斉にコック(●又は●)を引き離すことでエアを押し込み封入 (圧迫されてるエアバックにも入れることが可能)

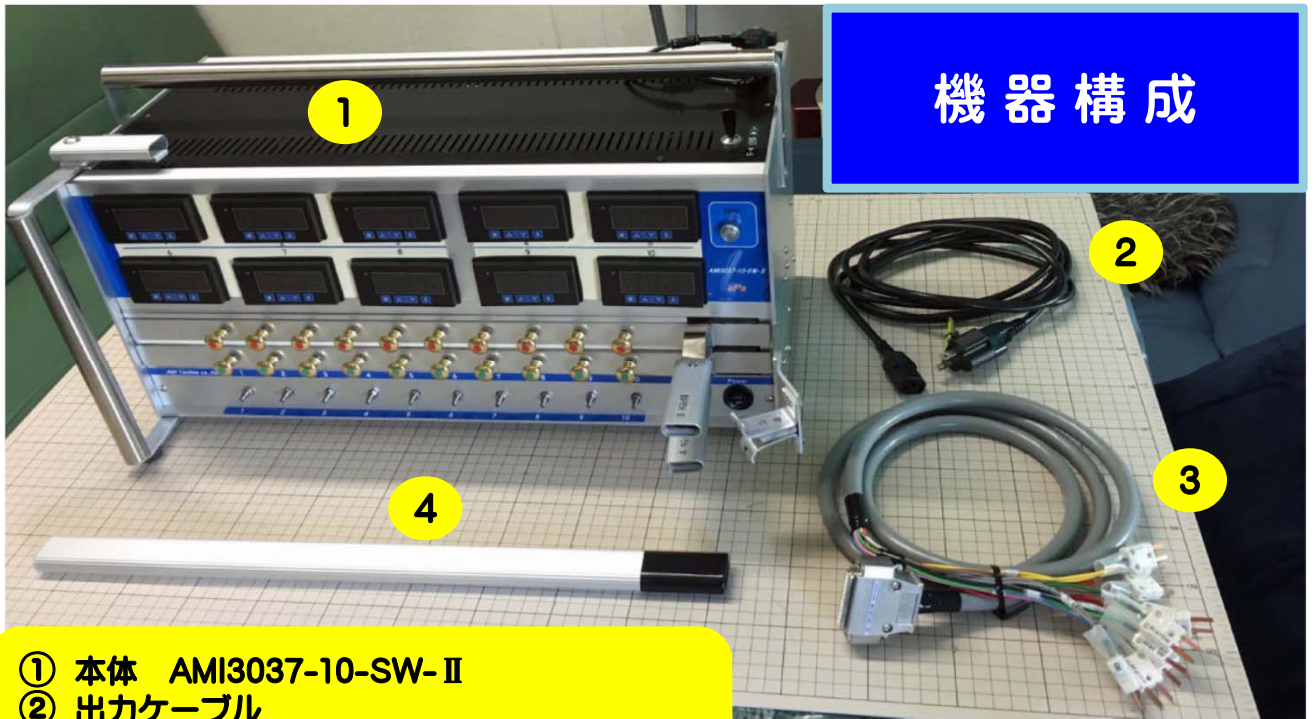
各々のコック(●又は●)でエア量が各chバラつきがある時は、少ないchをプレス試験にて確認しながら『切離し→接続』にて増量し調整して下さい

<出力信号>

測定値	出力
1kPa	0.1 VDC

測定値	出力
10 kPa	1 VDC

機器構成



- ① 本体 AMI3037-10-SW-II
- ② 出力ケーブル
- ③ 電源ケーブル
- ④ ハンドル